

国指定史跡 横田下古墳



種別	国指定史跡
所在地	唐津市浜玉町横田下 Google Mapで表示
指定年月日	昭和26年（1951）6月9日

横田下古墳は、唐津市浜玉町横田下の緩やかな丘陵上にあります。

正式な発掘調査は行われていませんが、30m前後の円墳と推測されています。しかし最近では、小型の前方後円墳ではないかと考える考古学者もいます。

横田下古墳は大正時代に地元の人が開墾していた際に偶然発見され、昭和26年（1951）に国の史跡に指定されています。

この古墳の最大の特徴は、国内最初期の横穴式石室（よこあなしきせきしつ）が残されていることです。初期の横穴式石室は崩れているものが多いのですが、横田下古墳の石室は当時の状態を保っていて、古墳好きの間では“一度は見ておきたい石室”として知られています。

古墳からは銅鏡、筒形銅器（つつがたどうき）、土器等が出土していて、これらは平成元年に佐賀県重要文化財に指定されています。石室と出土遺物からは、朝鮮半島の勢力とのつながりが強かったことが指摘されています。

横田下古墳は5世紀前半代に築造された古墳であり、当時の社会を考えるうえで重要な位置を占めています。



横田下古墳石室

問い合わせ

生涯学習文化財課

〒847-0013 佐賀県唐津市南城内1番1号

大手口センタービル6階

電話番号：0955-72-9171